

シラバス参照

講義コード	380045
科目名	百科学I
単位数	2
担当者	井原 甲二
履修年次	1年
開講期・曜日・講時	後期 月曜日 2講時

テーマ	「芸術が拓くもの—芸術平和学序説—」
授業概要	芸術は決して芸術のためののみ存するものではない。芸術は、宇宙の神秘、地球の神秘、生命の神秘に対する真摯な語りかけから始まり、大自然のはたらきから生(な)るあまたの生命存在の本質を探究し、創造し、表現する営みでもある。そのゆえに、芸術の本質は自己の内にあり、自己探求はそのまま芸術であるといえる。芸術大学に学ぶ1年生が、芸術の本質である自己、なかくなく自己の本質である良心に気づき、本学から何かを与えられるのではなく、学生生活を通していかなる自己を学び取り、自覚し、それによってどう生きるか、どう行動するのかを共に考える授業としたい。
履修にあたって	1年生は全員履修すること
到達目標	各テーマごとに講師の考え方を理解しながら、同時に、自分自身の考え方を練り直すことが大切です。講師の考え方や知識を鵜呑みにするのではなく、その考え方や知識をもとに、「自分ならばどう考えるか」という個性、独自性の引き出しを目標にします。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> * テーマに対し、どれだけ知っているかではなく、どれだけ個性的に、独創的に学び、考えることができたかを評価します。 * 授業参加度60% * ミニレポート(出席カード)14回…40% * 出席率70%以下は不可となります。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 芸術が拓くもの(建学の理念と芸術が拓く世界) 2 「芸術立国」論序説—良心と芸術と平和— 3 地球の面白さ—科学と知識で考える芸術と平和 4 38億年の生命誌が教える生命の神秘 5 比較文明史から見た「日本人の特性」 6 自己とは何か—哲学で考える人間の本質— 7 地球を聞け!—芸術平和環境論— 8 平和を語る人(I) 9 世界平和の今 10 原発という愚行—「核廃絶と世界平和」序論— 11 世界から見た日本の平和 12 芸術平和論—ART IN YOU— 13 江戸の芸術平和論—「傾(かぶ)く」芸術— 14 平和学入門—ガルトウング平和学—
予習・復習について	<ul style="list-style-type: none"> * 次回講義について教員が発表したら、講師の先生のプロフィールや主な著書を読んで、テーマに対する自分なりの考えをまとめておく。 * 毎月配布する副読本・月刊「MOKU」を必ず読むこと。 * 講義内容を必ずまとめ、自分の考えを書いておくこと。
テキスト・参考書について	* テキストは使用しません。副読本は、月に一度、月刊誌「MOKU」を期間中配布(無料)します。
テキスト	
参考書	
参考URL	
画像	